

コード	501041101
記入日:	H22.7.7

## 事務事業途中評価表

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	竹中次郎
担当者	濱崎健也

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	小学校消防設備改修工事
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10		
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2		
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1		
事務事業コード	5010411	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966		
関連計画		法令・条例規則等	消防法第17条「学校等の消防用設備等の設置及び維持管理」				

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1)	小学校	(対象指標1)				16校		
(対象2)	小学校児童	(対象指標2)				1,311人(H21.5.1現在)		
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
学校消防設備の改修事業の実施	若松小学校消防設備改修 1棟	改修校数	1校	60%	改修必要校数÷改修予定校数	平成21年度		
		改修校数	1校	100%		平成21年度		
		(達成率分析) 計画どおり消防設備の改修をおこなった。						
		*****		*****	*****	*****	*****	
		(達成率分析)						
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
消防法による屋内消火栓、自動火災報知器等を改修し、安全で快適に学習できる環境を整備し児童の安全性を確保する。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)		
		改修率	100%	60%	改修校÷改修必要校数	平成21年度		
		改修率	100%	100%		平成21年度		
		(達成率分析) 計画どおり事業は進捗している。						
		*****		*****	*****	*****	*****	
		(達成率分析)						

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 校	5	3	2	1	1	2				
	②										
成果指標	① %	100	60	40	100	100	100				
	②										
総事業費C(A+B)	千円	24,088	23,413	18,188	5,900	5,225					
直接事業費A	千円	22,688	22,013	17,488	5,200	4,525					
人件費B	千円	1,400	1,400	700	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	5,252	5,252	5,252						
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	18,836	18,161	12,936	5,900	5,225					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	学校教育法第5条により学校の管理および経費の負担は設置者の責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	安全で快適な教育環境を整備することは町の責務である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	教育環境を整備することであり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	消防設備改修工事を実施し、目的は達成されている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	整備計画に沿っているが、早期着手により成果向上できる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の安全性が確認できず、授業に支障がある。
	類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	単一の事業であり、関連する事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	入札の実施で、事業費が削減されている。
	人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	最小の人員で行っているため、削減できない
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	教育施設を整備することは町の責務であるため、受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	安全で安心な教育環境の整備が図られており、地域防災への役割も果たしている。
		効率性	適正な維持管理に努めている。
		課題に向けた改善策	特になし
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	学校の安心・安全な教育環境整備のため計画的な維持管理に努めること。
		効率性	経費の執行については、適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。